

## 新人賞一覧

年	総会回	受賞者	演題
2020 (令和2)	109 (福岡) →WEB	滝 哲郎	GPIアンカー型タンパク質CD109は肺腺癌の間質浸潤の制御因子である
		松本 穰	AIREによる糖尿病抵抗性獲得機構の実験病理学的解析
		箱崎 眞結	脳内で $\beta$ アミロイドーシスを誘発する可溶性A $\beta$ オリゴマーの解析
2019 (令和元)	108 (東京)	橋本 大輝	大腸鋸歯状病変の分子病理学的解析
		田原沙佑美	除菌後胃癌背景胃粘膜におけるDNAメチル化異常の蓄積
		美山 優	尿路上皮癌では腫瘍PD-L1発現と血小板は相互に腫瘍進展に寄与する
2018(平成30)	107 (札幌)	北脇 優子	コルチゾール産生性副腎皮質腺腫内の免疫細胞浸潤のメカニズムの解明
		牧瀬 尚大	脱分化ないし異所性分化を示す肉腫におけるMDM2増幅とH3K27me3消失の診断的意義に関する研究
		谷山 大樹	胃腺腫の長期予後に関する検討；腫瘍関連組織球は胃腺腫における癌の発生に関与する
2017(平成29)	106 (東京)	大原 悠紀	悪性中皮腫の新規治療法・予防法の開発
		西東 瑠璃	胃癌における炎症・免疫関連分子PD-L1及びNLRP3の機能解析
		田原紳一郎	子宮内膜癌におけるS100A4の発現と組織形態及び機能に関する検討
		峰 宗太郎	ヘルペスウイルス関連B細胞性リンパ腫由来新規細胞株の樹立とその病理学的解析
		山崎 有人	原発性アルドステロン症の非腫瘍性病変における病理組織学的分類
2016(平成28)	105 (仙台)	湯澤 明夏	髄膜腫および髄膜発生孤立性線維性腫瘍/血管周皮腫の遺伝子解析
		岩崎 健	メルケル細胞癌の病態メカニズムの解明
		紅林 泰	ヒト腫瘍間質における免疫反応の網羅的な解析
		富田 さくら	日本における腸管症関連T細胞リンパ腫のゲノムプロファイルと免疫組織化学的形質
		加藤 寛之	アルコール性肝発がんに対する細胞間連絡能の意義と分子病理学的制御機構
2015(平成27)	104 (名古屋)	西東 洋一	悪性黒色腫における所属リンパ節内CD169陽性洞マクロファージを用いた予後予測の有用性
		鷺見 公太	悪性胸膜中皮腫に対する新規病理診断マーカーの検討
		神崎 剛	Sterologyを用いた日本人におけるネフロン数の推計・ANCA関連血管炎モデルを用いた半月体形成腎炎の発症および進展機序
		山田 裕一	孤立性線維性腫瘍における分子生物学的解析
		大石 直輝	小児・若年乳頭癌におけるBRAFV600E、TERTプロモーター変異の解析
2014(平成26)	103 (広島)	仲山美沙子	カニクイザルを用いたインフルエンザウイルスの病原性およびワクチンの有用性の評価
		林 玲匡	肝細胞癌におけるヒストン修飾、クロマチン構造の解析
		酒井 康弘	HEV様血管を介したリンパ球浸潤機序の解明
		竹内 真衣	IgG4関連疾患の病理学的研究
		宮居 弘輔	精巣胚細胞腫瘍の発生・進展課程における分子機構の解明
2013(平成25)	102 (札幌)	菅野 宏美	悪性神経膠腫および髄膜腫の臨床病理学的解析
		齊藤 涼子	乳癌組織におけるAryl hydrocarbon receptorと臨床学的事項およびaromatase発現との関わりについての検討
		杉本幸太郎	上皮組織におけるタイト結合の形成とその調節機構
		常松 貴明	口腔癌の発生・進展に関わる分子病理学的研究
		三好 寛明	悪性リンパ腫の疾患概念と治療に関する検討
2012(平成24)	101 (東京)	永井 裕崇	繊維状物質の発がん機構の解明
		信澤 純人	神経膠腫におけるIDH1/2遺伝子変異
		里見 介史	神経内分泌腫瘍におけるロゼット構造の形態形成機構の解明と臨床応用
		柴原裕紀子	乳癌におけるアロマトー背阻害剤投与によるmicroRNAの変動および腫瘍抑制miRNA let-7によるアロマトーゼ遺伝子の制御に関する検討
		田中麻理子	浸潤性膵管癌・胆管癌の発癌過程の研究